

令和4年度 事業報告書

デイサービスなりすな
居宅介護支援事業所 なりすな

1 運営事業

デイサービスなりすな 定員12名(1日あたり)

(デイサービス稼働率)

	R4.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標稼働率	71%	74%	77%	83%	74%	80%	80%	74%	74%	76%	73%	71%	75.5%
目標利用者数(人)	220	230	240	250	240	250	250	230	230	220	210	230	2800
実施稼働率	64%	68%	66%	65%	58%	62%	64%	59%	42%	60%	61%	67%	61%
延べ利用者人数	200	212	205	194	188	193	201	183	130	172	177	217	2272
稼働日数(日)	26	26	26	25	27	26	26	26	26	24	24	27	309
延べ定員数(人)	312	312	312	300	324	312	312	312	312	288	288	324	3708
新規利用者	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	5
利用中止者	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0	5

※年間稼働目標 75%

(デイサービス稼働率推移)

H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
22%	37%	62%	74%	58%	64%	61%

12月9日～14日

新型コロナウイルス感染に伴う営業中止

居宅支援事業所なりすな・利用契約件数 年間契約目標 40件 (要支援者含む)	30件 (令和5年3月31日現在) ※注意事項 西地域包括より要支援者の委託依頼件数 5件 (上記の件数に含まず)
---	--

居宅なりすな→デイサービスなりすな 8人/35人 (23%)
居宅なりすな→デイ、ショート(なりすな) 13人/35人 (37%)
デイサービス全体の内 居宅なりすなの利用者 8人/18人 (44%)

●利用者介護度(デイサービス) (R5.3.31日現在)

介護区分	男性	女性	合計
要支援1	0	0	0
要支援2	0	0	0
要介護1	2	4	6
要介護2	4	5	9
要介護3	0	1	1
要介護4	0	1	1
要介護5	0	1	1
合計	6	12	18

※ 令和4年度全体平均介護度 1.9 (前年度 1.8)

●内部研修、外部研修

- ・苦情解決研修(1名)
- ・鳥取市介護支援専門員連絡会(1名)
- ・新人職員研修
- ・階層別職員研修
- ・感染予防研修
- ・介護支援専門員連絡会(2名)
- ・メンタルヘルス研修
- ・キャリアパス研修
- ・メンター制度研修
- ・高齢者虐待防止研修



(感染予防研修)

●年間行事実績

- 4月 花見散歩 畑作業(苗植え)
- 5月 外出支援(青谷郷土館) 消防訓練
- 6月 青谷海岸清掃 カレーライス作り 音楽レクリエーション、ちまき作り
- 7月 七夕行事
- 8月 納涼祭
- 9月 敬老会
- 10月 運動会週間、うどん作り、大学生実習受け入れ、干し柿作り、秋の外出
- 11月 外出支援、
- 1月 新年会 外出支援(青谷郷土館)
- 2月 節分行事 オンラインレクリエーション
- 3月 ひな祭り行事

随時実施：作品づくり・木工作業・散歩・誕生会・おやつ作り



(オンラインレクリエーション)



(外出行事:花見)

●認知症改善状況(長谷川式テスト年間2回実施)

令和4年度10月実施分

介護度別	改善した方	変化なし	低下した方	未実施
要支援1	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0
要介護1	0	0	6	0
要介護2	3	2	4	0
要介護3	1	1	0	0
要介護4	0	1	1	0
要介護5	0	0	0	0
合計	4	4	11	0
割合	21%	21%	58%	0%

●サービス改善に関する取り組み

苦情件数：利用者、家族 なし

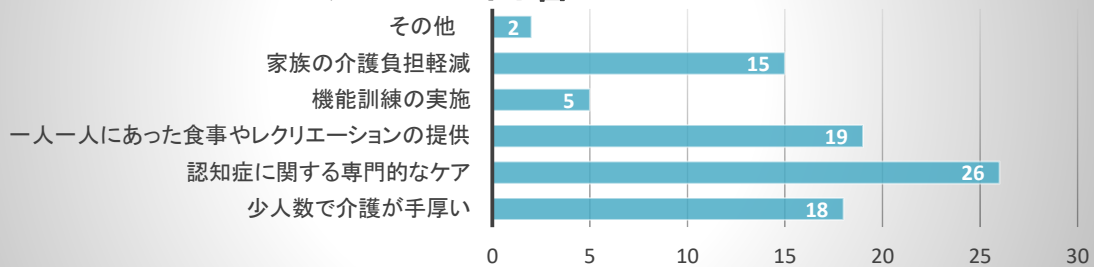
12月 サービスに関するアンケート実施 （各居宅介護支援事業所）

ホームページ更新

広報誌発行

} 行事等の様子、情報公表

①認知症対応型を選ばれる場合、希望されるサービス内容は？



●令和4年度 稼働率向上の対策についての報告

令和4年度 稼働率向上対策と状況

(対策)

- ①デイサービスの空き状況を近隣の居宅支援事業所へ周知する。
- ②広報誌の配布、設置を行う。
- ③新規利用者向けの広報誌を近隣の飲食店や理髪店へ配布を行う。

(状況)

広報活動や近隣の居宅支援事業所へのPR活動を行う事で新規利用者は、増加したが、併せて利用中止者もいる状況である。今後も事業所のPR活動を積極的に行い、利用者の確保を目指していく。

●その他

デイサービスを利用されてきた利用者の方で看取り期となるが本人の強い希望もあり、継続してデイサービスを利用された。主治医の先生が無理であろうと言われる時期までの利用となる。

継続して利用されてきた利用者の方を看取り期となってもデイサービスを利用していただき、ご家族から何もわからない中で相談や助けてもらい本人の希望どおり最期まで家で看取ることができた。デイサービスを利用して良かったと話があった。また、職員にとっても試行錯誤しながら看取り期の利用者を受け入れたことで今後のサービス支援の糧となった。又、係る事業所同士の連携の重要性を改めて感じた。